

行政評価とは

◆ 行政評価の定義

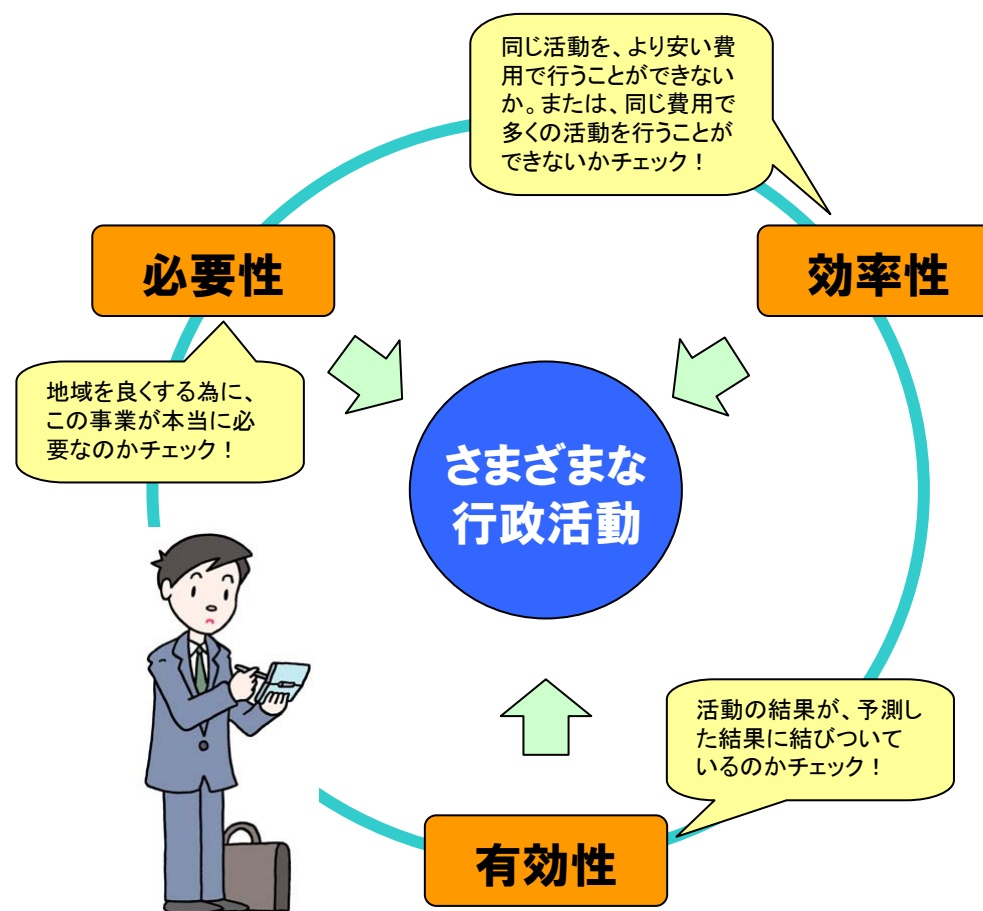
行政評価とは、行政が行う全ての行政活動を、一定の基準・視点にしたがって評価し、その結果を改善に結びつける取り組みのことをいいます。

◆ 行政評価に必要なもの

市役所では、子育て支援や道路整備、教育振興などさまざまな行政活動を行っています。このような事業を同じように評価するには、何らかの共通のものさしが必要となります。

一般的には、「必要性」や「効率性」「有効性」などの視点が共通のものさしとして用いられています。

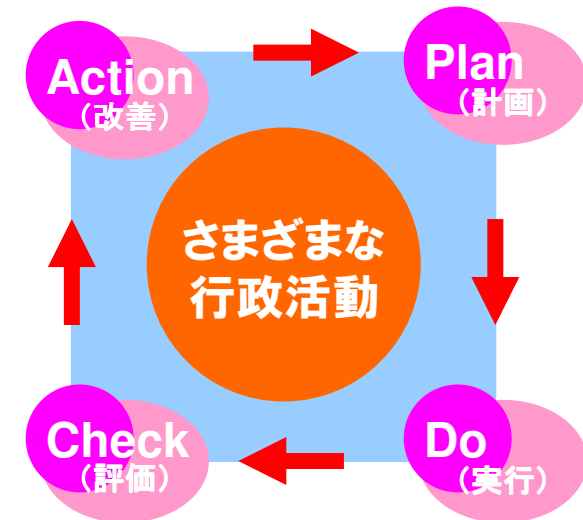
また、行政活動の「結果」や「成果」を、「だいたいできた」や「おおむねできた」という抽象的な感覚で計ることは適していないため、できる限り数量的把握することが基本となります。



行政評価とは

◆ PDCAサイクルを円滑に運営するために

行政活動は、市民のためのまちづくりに対し、常に良い取り組みが進められるよう、PDCAサイクルと呼ばれる流れの中で改善が行われます。行政評価は、このPDCAサイクルを円滑に進めるための有効な手段です。



行政評価の必要性

◆ 「結果重視」から「成果重視」へ

これまで行政は、計画し、予算を確保し、事業を執行すること、また何を行ったという「結果」に重点がおかれていたと言われていました。

今後は、予算を確保し事業を執行する以上に、コストに見合った「成果」を重視し、人員や財源を効果的に配分し、スピードある意思決定を行う「行政経営」にシフトしていかなければなりません。

そのための手段として「行政評価」の手法が有効だと考えられます。

南丹市の行政評価

◆ 行政評価の導入目的

南丹市では、次の目的で行政評価を導入します。

1. 効率的で効果的な行政活動の推進

行政の活動を継続的に改善し、効率的で効果的な行政活動の推進を目指します。

2. 行政活動の信頼性向上

行政評価を通じて、行政の説明責任を果たすとともに市民の皆様との共通認識を深め、行政活動の信頼性向上を目指します。

3. 職員の意識改革、政策形成に関する能力の向上

評価を通して、問題発見・分析能力など職員の政策形成能力の向上や、成果を重視した行財政運営への職員の意識改革を図ります。

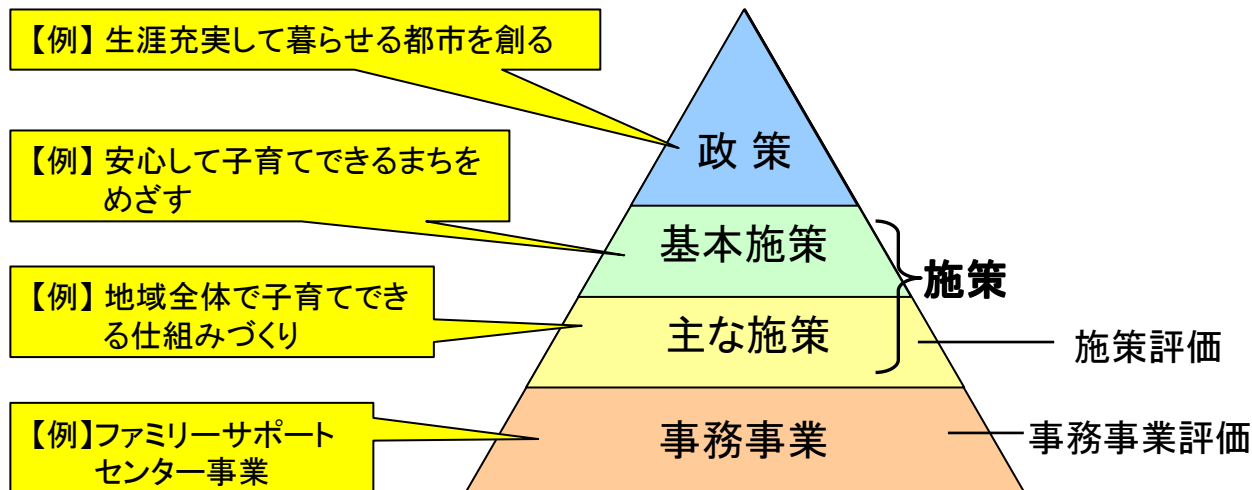
4. 総合振興計画に基づくまちづくりの早期実現

資源の選択と集中、総合振興計画の進捗管理と連携し、PDCAサイクルの円滑な運営を図りながら総合振興計画に基づくまちづくりの早期実現を目指します。

南丹市の行政評価の特徴

◆ 南丹市が行う行政評価

南丹市で行う行政活動は、「政策」「基本施策」「主な施策」「事務事業」の4段階に区分されます。このうち、「事務事業」と「主な施策」について評価を行います。



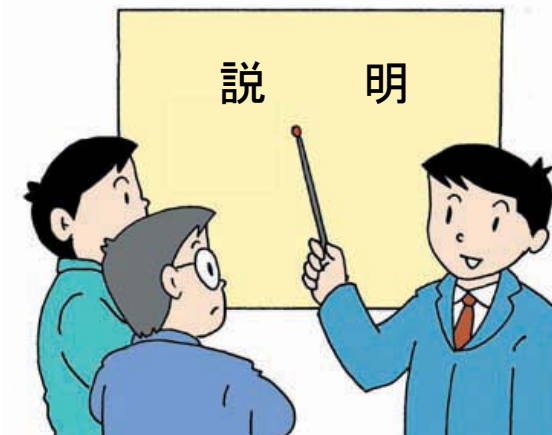
◆ 取り組みスケジュール

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
施策評価	施策評価の手法をマスターする	施策評価を実施【試行】	全施策について評価
事務事業評価	一部の事業を評価	目的事業のすべてを評価	すべての事務事業を評価
関連作業	指標の考え方について整理	事務事業の再構築	

評価結果の活用

◆ 説明責任の向上

行政活動の説明責任を果たすため、評価結果はホームページなどにより公表します。また、公表することによって、行政活動に関する情報を市民の皆様と共有し、市民の皆様が市政に参加しやすくなることを目指します。



◆ 市役所内部における情報の共有化

評価結果は、担当課において、事業の改善、見直しを行う際の資料や予算要求の基礎資料として活用します。また、評価を通して設定した結果指標・成果指標や、その目標値・実績値などのデータは蓄積し、組織の共通のデータとして活用できるようにします。

◆ 予算への反映

予算編成のための資料として評価表を活用し、評価結果を予算へ反映させます。